

プラトニック・セックス (2001)

メディア 映画
ジャンル ドラマ 青春 エロティック
製作国 日本
色彩 Color
時間 104分
初公開日 2001/10/20
公開情報 東宝
映倫 R-15

【キャッチコピー】
こころ を 支える ために からだ を 求めた

【解説】
AVアイドルからTVのバラドルへと転身した飯島愛が、それまでの人生をあからさまに綴り、10代の女の子などを中心に100万部を超えるベストセラーとなった同名小説の映画化。主演は12000通の一般応募の中から選ばれた16歳の新人・加賀美早紀。17歳の誕生日を迎えたあおい。しかし友人たちにレイプされ、助けを求めた家族にも見放された彼女は校庭の屋上から自殺を図ろうとしていた。そして飛び降りようとした瞬間、あおいの携帯に間違いメールが入り自殺を思いとどまる。だが、家に帰ることも出来ずに夜の街をさまよう内に彼女はスカウトマンの金井にキャバクラを紹介され、源氏名“愛”として金のためにその日暮らしを始めていく。間違いメールの相手・トシとのメール交換から人を愛することを知った愛は、トシと同棲を始めるのだが、その時すでに5本で500万円というアダルト・ビデオ出演が決まっていたのだった。

【クレジット】

監督	松浦雅子	
監修	飯島愛	
製作	亀山千広	
	渡辺ミキ	
企画	関一由	
	亀井修	
	遠谷信幸	
エグゼクティブプロデューサー	宅間秋史	
	林秀樹	
プロデューサー	佐倉寛二郎	
	瀧山麻土香	
アソシエイトプロデューサー	山下暉人	
	大澤剛	
	黒田知美	
企画協力	小滝祥平	(ディスティニー)
	河村光庸	(アーティストハウス)
原作	飯島愛	「プラトニック・セックス」
脚本	森下佳子	
撮影	高瀬比呂志	

美術	及川一	
編集	川島章正	
音楽	佐橋俊彦	
照明	渡辺三雄	
録音	野中英敏	
監督補	井上隆	
出演	加賀美早紀	あおい
	オダギリジョー	敏海
	阿部寛	石川
	加勢大周	金井
	野波麻帆	明美
	石丸謙二郎	父・義雄
	根岸季衣	母・由紀子
	村田充	